

キレイに、未来へ



TOYOKOH

キレイに、未来へ

高度経済成長の時代、我々の先達はどんどん投資をして日本経済を大きく成長させてきました。工場、道路、橋、大型プラントetc…。これらの投資に支えられて世界有数の経済大国へと成長した日本。

しかし現在、成熟社会を迎えた我々は少子化、高齢化、インフラや設備の老朽化など、さまざまな社会問題に直面しています。

トヨコーは、新たな技術と現場の視点で、こうした社会問題のうち「インフラ等の老朽化」「生産年齢人口の減少」という社会問題の解決に挑戦します。

我が国を長年支え続けてきた大切な資産を壊して作り変えるのではなく、より永くよりキレイに使い続けられる循環型社会へ、また生産年齢人口の減少で担い手から敬遠される現場から、新たな技術でより働きやすい環境へ。現場の担い手として新たな技術により「キレイに未来へ」つなげること。それが私たちトヨコーのミッションです。

代表取締役社長 CFC	豊澤 一晃
代表取締役社長 CRC	茂見 憲治郎

会社概要

会社名	株式会社トヨコー（TOYOKOH Inc.）
設立	1996年3月1日
資本金	876百万円（資本準備金・その他資本剰余金を含む）
役員	代表取締役社長 CFC 豊澤 一晃 代表取締役社長 CRC 茂見 憲治郎 取締役 CFO 白井 元 取締役 藤田 和久 取締役 吉川 彰 監査役 阿部 洋
事業内容	(1) 屋根の防水・断熱・補強工事 (2) レーザー装置を用いた塗装・錆・有害物質等を除去するクリーニング事業 (3) 建物やインフラに対するパブリックアートデザイン提案とその塗装工事

子会社	会社名 フォーカス・エンジニア株式会社 事業内容 レーザークリーニング施工 株主 株式会社トヨコー（60％）／鈴与建設株式会社（40％） 会社名 TOYOKOH (THAILAND) Co., Ltd. 事業内容 タイにおけるSOSEI事業の展開 会社名 デブスデザイン株式会社 事業内容 パブリックアート事業におけるデザイン監修・提案
顧問弁護士	内田・鮫島法律事務所
顧問弁理士	進歩国際特許事務所
顧問税理士	鈴木一貴公認会計士事務所
連携機関	光産業創成大学院大学 九州大学 東京電機大学
所属委員会	公益社団法人土木学会 一般社団法人レーザー加工学会 一般社団法人レーザー施工研究会



TOYOKOH

本社
417-0047 静岡県富士市青島町39
TEL：0545-53-1045 FAX：0545-53-2045

浜松研究所（CoolLaser開発拠点）
434-0004 静岡県浜松市浜北区宮口3824-12
TEL：053-582-1605 FAX：053-582-1606

SOSEI BASE（SOSEI開発拠点）
416-0931 静岡県富士市蓼原241-1

東京事業所
120-0026 東京都足立区千住旭町38-1
東京電機大学 東京千住アネックス 316号室

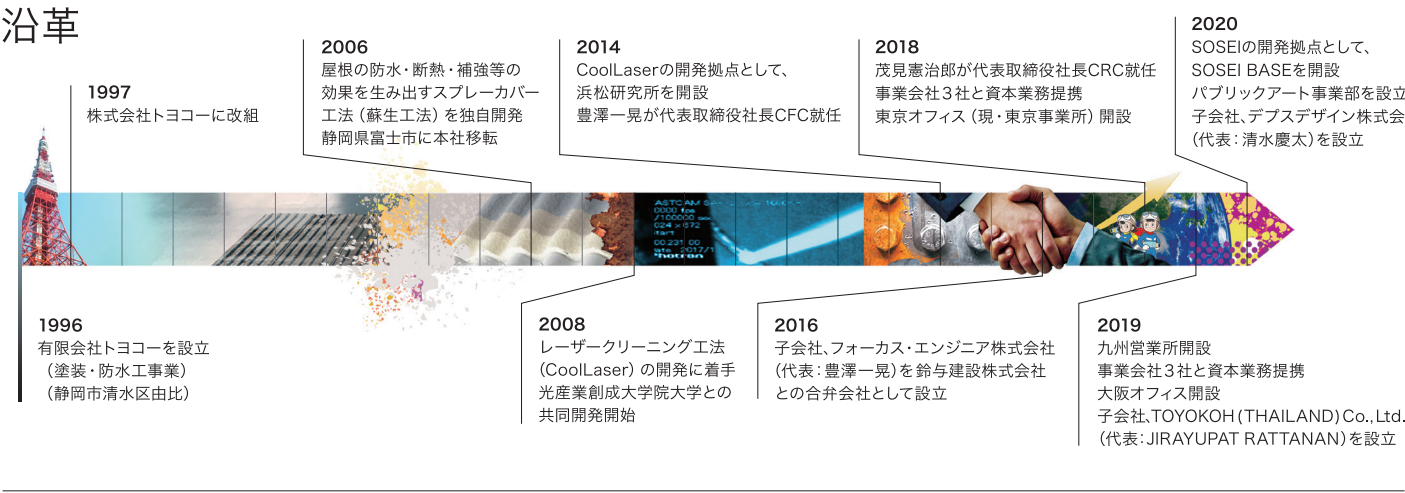
大阪オフィス
530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-11-4-1600号
大阪駅前第4ビル16階612号

九州営業所
812-0015 福岡県福岡市博多区山王1-14-12 平田ビル1F
TEL 092-409-9999 FAX 092-409-9992

デブスデザイン株式会社
417-0047 静岡県富士市青島町64

TOYOKOH (THAILAND) Co., Ltd.
122 SOI RAMKHAMHAENG 106,
SAPANSUNG, BANGKOK 10240

沿革



組織

コーポレート部
会社全体を支える基盤となる
各事業部の事業推進をヒト・モノ・カネの面から支える
ヒト：必要な人材採用、適切な労務管理
モノ：設備、IT、ブランド等有形無形資産の保全と活用
カネ：資金調達と計数管理、外部報告

CoolLaser 事業部
「除去」の新技術CoolLaserにより、構造物をキレイに未来へつなげることで文明の維持に貢献する
新技術の導入に積極的なお客様と一緒に、お客様の困りごとを解決する
レーザークリーニング工法を施工体制面で確立し、現場作業の安全と負荷軽減を追求する
光技術の面から常にニーズへの対応・改善につながる技術の導入と開発を続ける

5つのこだわり 私たちには5つのこだわりがあります

- 1 責任施工 まずは自社で責任を持って確立/実証し、その上で普及を図る
- 2 自らのパイを焼く 業界内で競争する（パイ取合戦をする）のではなく、顧客が困っていて他社/他工法では実現しづらい分野に挑戦する
- 3 協創戦略 ビジョンの実現に向けて社外の協力会社とも積極的な協業体制を構築する
- 4 誰よりも現場で働く一人ひとりのために 現場の担い手から支持を得られることを重視する
- 5 継続的なイノベーション これらを実現するために積極的に新技術を開発、導入する

